

平成27年11月17日  
千葉大学医学部附属病院

糖尿病治療薬で内臓脂肪の減少を目指して  
2型糖尿病患者さんを対象に、臨床試験の参加者を募集します

メタボの解消や心筋梗塞などの予防につながる重要な臨床試験です

千葉大学医学部附属病院（病院長 山本修一 千葉市中央区亥鼻 1-8-1）は、これまでと異なる効果を持った糖尿病治療薬を使用して、内臓脂肪の減少効果を評価する臨床試験に取り組んでおり、参加する糖尿病患者さんを募集しています。

糖尿病の患者数は、国際糖尿病連合（IDF）によると、平成26年で3億8,670万人（有病率 8.3%）、20年後には5億9,190万に増加すると予測されており、新しい治療薬が次々と発売されている状況です。本研究は、効果的な薬の組み合わせと安全性の評価を目的とした、今後の糖尿病治療を方向づける重要な臨床試験です。内臓脂肪の減少によるメタボリック症候群の解消や動脈硬化性疾患の予防を目指して、平成26年9月より開始し、現在、57人の患者さんが参加しています。

報道機関の皆様には、本研究の参加者募集にご協力いただきたく、何卒よろしくお願いいたします。

<研究代表者の横手幸太郎教授（糖尿病・代謝・内分泌内科）>



内臓脂肪はさまざまな生活習慣病をもたらす原因となります。このため、糖尿病を改善しつつ内臓脂肪を減少させることは、心筋梗塞（こうそく）など動脈硬化性疾患の予防につながると期待されます。日本の糖尿病治療で広く用いられている DPP-4 阻害薬に適した併用薬を検討するとともに、試験に参加される方の健康増進に努めます。

#### 1. 使用する糖尿病治療薬

近年、2型糖尿病<sup>※1</sup>の薬物療法で多く使われているのは DPP-4 阻害薬<sup>※2</sup>という薬ですが、体重および血糖のコントロールが十分ではない患者さんもいます。本研究で使用する「ナトリウム依存性グルコース共輸送体-2（SGLT-2）阻害薬」は体重を減少させる効果があり、内臓脂肪も減少させることが期待されています。試験に参加した方からは「血糖コントロールが改善した」「体重が減った」「腹囲が減った」との声が寄せられています。

- ※1 2型糖尿病・遺伝や高カロリー、高脂肪食、運動不足などにより引き起こされる「インスリンの作用不足」が原因で、血液中のブドウ糖(血糖)が正常より多くなる病気
- ※2 DPP-4 阻害薬・血糖値を下げる効果のあるインクレチンの分解を阻害する薬

## 2. 募集の対象（以下の2つを満たす患者さん）

- ①DPP-4 阻害薬(ジャヌビアまたはグラクティブ)を単剤で内服していること
  - ②HbA1c※が7%以上で標準体重以上の2型糖尿病であること
- ※HbA1C・血液中のヘモグロビン(Hb)とブドウ糖が結合したもの

## 3. 試験の内容

指定の糖尿病治療薬を飲んでいただき、前後の半年間、内臓脂肪の変化をCTスキャンで確認します。

本件に関するお問い合わせ先  
千葉大学医学部附属病院  
糖尿病・代謝・内分泌内科 石川 耕  
Tel:043-222-7171(内線:72050)  
E-mail : ishkawako@chiba-u.jp

取材に関するお問い合わせ先  
千葉大学医学部附属病院  
総務課 広報係 坂本、渡辺、丸山  
Tel : 043-226-2225 Fax : 043-224-3830  
E-mail : xae6025@office.chiba-u.jp